

●令和4年度実施計画搭載事業 実施状況・効果検証

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費 (決算額)	交付金 充当額	事業実績	事業の効果・検証 (評価)
1	雇用継続持続化支援事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い利用者等の大幅な減少により事業継続が困難となっている観光及び村民の憩いの場である村の指定管理施設について、雇用継続と運営の持続化のため事業者を支援する。 ②事業者 施設指定管理事業者（2施設）	R4.7	R4.8	25,580,000	25,580,000	支援事業者：2事業者	感染症拡大影響による指定管理施設運営への雇用継続ならびに経営持続につながり、村内経済の堅持に寄与することができた。
2	観光施設感染予防対策事業	①ウィズコロナのなかで感染症対策を強化することにより観光客が安心して利用できるよう整備することを目的とする。 ②指定管理施設	R4.7	R5.2	770,000	770,000	整備施設：さるふつまると館 手洗自動水洗化6箇所・自動水栓付手洗器取替1箇所	感染症対策強化にて観光客への安心感を与えることにより、施設運営の支障面を解消できた。
3	宿泊事業者感染予防対策事業	①ウィズコロナのなかで感染症対策を強化することにより観光客が安心して利用できるよう整備することを目的とする。 ②指定管理施設	R4.5	R5.1	8,842,900	8,842,900	整備施設：ホテルさるふつ 整備内容：抗菌仕様木製チェア180脚・同子供用チェア10脚・アクリル板50セット・手洗器自動水洗化14箇所	感染症対策強化にて宿泊施設利用者への安心感を与えることにより、施設運営の支障面を解消できた。
4	学校施設衛生環境整備事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的に衛生環境と換気対策等の確保を行い学校生活の安全を確保する。 ②村内小中学校	R4.7	R4.11	741,180	741,180	学校内の設備等の修繕を行い、衛生的な環境の確保と換気対策のための換気扇改修などを実施した。	換気扇の改修等により換気が効果的に実施できる環境が整えられたほか、学校内の衛生的な環境が整備され、感染症拡大防止を図ることができた。
5	社会教育施設衛生環境整備事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的に社会教育施設の感染予防・換気対策を行い施設利用者への安全を確保する。 ②指定管理施設	R4.5	R4.9	2,420,000	2,420,000	社会教育施設の建具設備の修繕を行い、開閉に不具合が生じていたドアがスムーズに開閉できる環境整備を実施した。	ドアのスムーズに開閉できる環境が整備され空気の入替による換気対策が容易に実施することができ、感染症拡大防止を図ることができた。
6	外国人技能実習生等出入国支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により外国人技能実習生等の出入国に要する費用（航空運賃）が増大していることから、海外から外国人技能実習生等の受け入れ及び帰国の際にかかる費用に対し支援する。 ②外国人技能実習生等を受け入れる村内事業者	R4.5	R5.3	5,100,000	5,100,000	利用事業者：7社 支援金：5,100,000円	外国人技能実習生等出入国の際、新型コロナウイルス感染症に関する水際対策にかかる経費負担を支援することにより、費用を軽減することができた。
7	暮らし応援商品券発行事業補助金	①猿払村商工会で実施する暮らし応援商品券発行事業へ補助することにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた村内商工業者及び村民の生活支援を図る。 ②③プレミアム付商品券発行 発行総額 5,000円×4,000冊 = 20,000,000円 20,000,000円×20%（プレミアム分） = 4,000,000円 事務費 500,000円 プレミアム商品券発行支援事業補助金（2,000,000円充当） ④村民及び村内商工業者	R4.9	R5.3	4,487,000	2,493,500	①暮らし応援商品券：プレミアム率20% ②換金額：23,922,000円×20/120 = 3,987,000円 ③印刷代（商品券）：500,000円	新型コロナウイルス感染症の影響により急激に悪化した地域経済の活性化を図るため、消費喚起策を講じた。また、消費購買力の流出が抑制され、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地元企業に対しての経済効果が大きかった。
8	庁舎衛生環境整備事業	①新型コロナウイルス感染症対策として、公共空間での感染機会を削減するため、庁舎内トイレの洋式化及び手洗器を自動水栓へと更新する。 ②庁舎を利用する村民等	R4.6	R5.3	7,810,000	7,810,000	役場庁舎内の感染症対策として、公共空間での感染機会を削減するため設備の更新を実施した。 トイレ 11台 洋式化 手洗器 18台 自動水栓化	洋式化及び自動水栓への更新により感染対策及び衛生管理対策を図ることができた。
9	地域交流施設衛生環境整備事業	①アフターコロナにおいて地域交流事業を再開した際の対策として、生活支援を目的に村民が集う施設内での衛生管理を更に強化するため、洗面台の増設及び自動混合水栓の改修を行う。 ②地域交流施設	R4.5	R4.12	3,190,000	3,190,000	地域交流施設内の感染対策・衛生管理強化を図るため、自動混合水栓付き洗面台1か所の増設及び既存の洗面台8か所を手動水栓から自動混合水栓に改修を行った。	洗面台1か所増設に伴い施設利用者の洗面台使用時の混雑軽減、密集・密接の回避ができ、混合自動水栓により蛇口に触れることなく手洗いができるため、施設内での感染対策・衛生管理強化ができた。

10	オンライン会議等環境整備事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大により三密・接触を避けなければならない状況下において、オンライン会議やオンラインセミナー等、議員活動を在宅で行うために必要な機器を整備し、接触機会の低減による感染拡大防止と円滑な議会運営を図る。 ②村議会議員及び事務局	R4.8	R5.2	3,013,013	2,800,000	・タブレット端末 11台 ほか付属品 ・タッチペン 11本 ・キーボード 11台 ・スキャナー 1台 ・液晶ディスプレイ 1台 ほか付属品	タブレット端末等を活用したICT環境の整備により、感染症対策が必要な状況化においてもオンラインによる情報交換が可能となったほか、資料等の電子化により効率的な情報共有の仕組みが確立され、円滑な議会運営が図られている。
11	感染症対策資材購入事業	①新型コロナウイルス感染症対策に講じる資材を購入。 ②村民、保健・医療従事者	R4.4	R5.3	2,351,874	1,056,420	感染症対策：コードレスクリーナー、空気清浄機、ペーパータオル、コロナ患者搬送に伴う感染症患者隔離搬送用バッグ（DIFトランスバッグ）	感染症対策資材の整備により集団生活における衛生環境の維持や救急隊員の感染防止策を図ることができた。
12	原油価格・物価高騰対策商工業等応援商品券発行事業	①コロナ禍において原油価格、物価高騰の影響を受ける商工業者及び村民の生活支援を目的として、商品券を配布することにより、村内経済の活性化並びに消費拡大を図る。 ②村民	R4.8	R5.2	21,769,730	18,687,000	商品券：26,475,000円 (利用数 26,475枚・村民1人10,000円) 事務費：954,730円（商品券印刷ほか）	コロナ禍において原油価格、物価高騰の影響を受ける商工業者及び村民の生活支援を目的として、商品券を配布することにより、村内経済の活性化並びに消費拡大が図られた。
16	(⑤国のR4予算充充分)原油価格・物価高騰対策商工業等応援商品券発行事業	①コロナ禍において原油価格、物価高騰の影響を受ける商工業者及び村民の生活支援を目的として、商品券を配布することにより、村内経済の活性化並びに消費拡大を図る。 ②村民			5,660,000	5,660,000		
13	福祉灯油購入助成事業	①コロナ禍において原油価格の高騰に直面する高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯等の低所得者世帯に対し、冬期間の暖房費の一部を助成する。 ②高齢者世帯90世帯、障がい者・ひとり親10世帯	R4.11	R4.11	2,496,000	1,278,000	コロナ禍において原油価格の高騰に直面する高齢者世帯、障がい者世帯等の低所得者世帯に対し、冬期間の暖房費の一部を助成した。 ●支給実績 32,000円×78世帯=2,496,000円 ●対象者 高齢者世帯76世帯、障がい者2世帯	原油価格の高騰に直面する高齢者等世帯に対し助成することで、安心した生活を支援することができた。
14	学校給食費価格維持対策事業	① 保護者から徴収する学校給食費は、全額給食調理用の賄材料費として支出しているが、これまでの物価上昇に対しては、副食の品数減やより安価な材料への変更など献立の見直しなどで対応を図ってきた。コロナ禍において物価高騰に直面し、献立の見直し等での対応が困難な状況にあることから、これまで通りの栄養バランスや量を保った給食提供と保護者負担増を回避するため、交付金を活用し児童・生徒・家庭の生活を支援するもの。 ②一般会計（学校給食費：需要費（賄材料費）に充当）	R4.7	R5.2	435,000	435,000	小中学校給食の賄材料費（食材費） (食材高騰/物価指数3.4%増) (小学校) 146名×262円×200日×3.4% = 260,113.6≒260,000円 (中学校) 84名×308円×200日×3.4% = 175,929.6≒175,000円	昨今の物価高騰に関しては、これまで献立の工夫や止むを得ず国産食材を選択するなど、できる限りの対応を図ってきましたが、学校給食摂取基準を満たす上では厳しい状況が続く状況の中、国の交付金を活用することにより、これまで通りの栄養バランスや量を保った給食提供と、保護者負担軽減にも寄与することができた。
15	村民生活応援商品券発行事業	①コロナ禍において電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受ける村民の生活及び村内経済の活性化を目的として、商品券を配布することにより、生活支援を図る。 ②村民	R4.11	R5.3	14,081,506	9,916,000	商品券：13,147,000円 (利用数 13,147枚・村民1人5,000円) 事務費：934,506円（商品券印刷ほか）	コロナ禍において電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受ける村民の生活及び村内経済の活性化を目的として、商品券を配布することにより、生活支援が図られた。
17	学校保健特別対策事業費補助金	①新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的に衛生環境を整備し学校生活の安全を確保する。 ②村内小中学校	R4.4	R5.2	4,656,031	1,100,000	オンライン学習時に対応するため学校内で不足するノートPCを購入したほか、換気強化のためのサーキュレーター等の備品の購入のほか、日々の共有部分の消毒のための消耗品を購入し感染症対策を実施した。	整備された備品や消耗品により学校内での感染症拡大防止対策を実施し、感染拡大防止を図ることができた。また、教室から教諭が授業を配信する際にノートPCを使用することにより臨時休業時におけるオンライン学習の実施がスムーズに実施できる環境が整えられた。
18	疾病予防対策事業費等補助金	①免疫を保有している方の割合が他の世代に比べて低い男性の抗体検査を行い予防接種を促進する。 ②昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象	R4.5	R5.2	58,168	8,000	風しん抗体検査委託料 8件	風しんの予防接種は、現在、予防接種法に基づき公的に行われ、風しんの感染拡大防止を防ぐため公的な接種を受ける機会がなかった中年男性を対象に無料で抗体保有検査と予防接種が受けられるクーポン券を配布した。
計					113,462,402	97,888,000		